

2026年 2月号

ほっと・氷川台 デイサービスセンター だより 2月



笑顔のお土産ご自宅へ

このたび「ほっと・氷川台デイサービスセンター」は、開業以来、皆様の温かいご支援のもと、順調な運営を続けてまいりましたが、ほっと・すぺーす全体の今後の事業計画を踏まえ、2026年3月1日より「ほっと・ハウス・豊玉デイサービス」と合併する運びとなりました。これに伴い、「ほっと・氷川台デイサービスセンター」の営業は2月末日までとなります。

突然のご連絡で、ご利用者様、ご家族様、には多大なご迷惑とご心配をおかけしてしまい、大変に申し訳ございません。

「ほっとハウス豊玉デイサービス」と合併後も、ほっと氷川台デイサービスの「来て安心、過ごして安心、笑顔のお土産ご自宅へ♪」のモットーを心に刻み、これからもご利用者様に笑顔のお土産を届けて参ります！

管理者 水上 茂男



万華鏡

〒179-0084 練馬区氷川台3-19-7 井垣ビル2F
TEL. 3933-8188



さて、皆さんにご報告がある。沖山さんのご勇退に合わせ、この「万華鏡」は本号でおしまいとなる。どんなきっかけで始まったのかすら、もはや覚えていない。たぶん、沖山さんからの依頼を、そのくらいの分量ならと、軽い気持ちでお引き受けしたのだろう。

最初の10年ほどは、さほど苦勞せずに書けていた。と言っても、手書きの原稿を印刷所で組んでいた時代である。生来の怠け者である私はぎりぎりまで手をつけようとせず、慌てて書き上げた原稿を、しょっちゅう印刷所まで届けるはめに陥った。データを直接送るようになり、締め切りが少し延びたが、そのぶん書き始めるのも遅くなり、やはりバタバタになってしまうのは今も変わらない。今さらだが、この場を借りて沖山さんにお詫びしたい。

ちなみに機械の苦手な私が原稿をデータにできるはずもなく、そこは長男に頼んでいた。やはりぎりぎりのバタバタである。しかも、こっそり誤字脱字やおかしな部分を直していたらしい。いろいろと頭が上がらない。

長く続いていたものが終わる寂しさはあるが、これで催促されずに済むというのも正直な気持ちだ。でも、この年になっても待たれるというのは誇らしい経験でもあった。ここまでお付き合いいただいた読者の皆さま、そして書かせてくださった沖山さん、ありがとう！（依）

第2地区介護保険事業所地域連絡会

第二地区介護保険事業所地域連絡会は、地域の皆さまが住み慣れたご自宅やこの地域で介護を要する状態になっても安心して暮らしていただける仕組み（＝地域包括ケアシステム）の担い手として、各方面と連携しながら活動しております。現在、錦、氷川台、早宮、平和台で介護保険サービスを提供している事業者23法人が所属しています。

活動内容は、要介護状態の方に介護サービスを提供することだけでなく、介護予防から施設利用まで、あらゆる介護ニーズにお応えできるように事業所間の情報交換を行っております。秋には平和台体育館で健康フェスティバルも開催し、多くの皆さまに介護予防や健康増進のお手伝いをさせていただきました。周りに介護で困った方がいらしたら、是非とも私たちに声をかけてください。様々な資格や経験を有する専門スタッフによってこの地域での生活を継続することができるようにご支援させていただきます。

私たちは今年も「互いに顔の見える関係を大切にしながら、お役に立てるよう努めてまいります。どうぞ引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年2月

事務局担当 関 光徳（平和台介護老人保健施設アバンセ）

この情報はASA平和台のご協力を頂いています。

長い間ありがとうございました

認知症予防・氷川台3丁目カフェが、ほっと氷川台デイサービスセンターをお借りして、初めて開催したのは、2017年の7月でした。以来、8年半にわたり、土曜日に、会場を自由にさせていただいて本当にありがたかったです。ボランティアが集いを企画するとき、第一にネックになるのが会場問題です。予約の心配がなく安定してさせていただいて、利用者はのべ2000人以上になります。自由にアットホームに寛げて、とても気が楽な雰囲気でおしゃべりや麻雀で交流ができました。沖山一雄前社長に厚くお礼を申し上げます。

おかげさまで2026年3月からは、下記に転居する運びとなりました。高齢者が孤立しないように、定期的な居場所を提供し、いろいろな情報を提供したり交換するのがカフェの目的です。

練馬区の街かどケアカフェ事業に提携して実施しています。

移転先は下記のように有料老人ホームの食堂をお借りするので、今までとは雰囲気も違うものとなると思いますが、スタッフ一同はそっくり移動いたします、継続でご利用の方はもちろん、新規の方も歓迎です、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

代表世話人 寺田 和子

認知症予防 氷川台3丁目カフェ — 麻雀からおしゃべりまで —

移転先 2026年3月から

- 日時：毎月第1・3土曜日 午後2時～4時半(開始時間に変更になります)
- 場所：氷川台3-2-6 そんぼの家氷川台(氷川台駅2番出口から徒歩8分)
- 参加費：100円(お茶代)

連絡先：寺田和子 090-8772-9157

※麻雀はご希望の方が多いので、交代しなからのプレイになります、ご了承の上参加ください。



子どもの居場所づくり

「氷川台のだるまちゃんち」通信 NO.43

「だるまちゃんち」は2022年3月より、「ほっと氷川台デイサービスセンター」をお借りして活動してまいりました。

このたびの同センター閉所にあたり、これまでの多大なるご厚意に深く感謝いたします。

建物の運営については今後、第1・3日曜日に「てんぐちゃんち」を運営するNPO法人わかちあい練馬が新たな借主として引き継ぐことになりました。「てんぐちゃんち」の継続とともに、地域貢献の取り組みを広げていく予定とのことです。

「だるまちゃんち」につきましても、現在NPO法人わかちあい練馬と今後の運営について協議を進めているところです。方針が決まり次第、2月中旬までには公式ウェブサイトや各種SNSでお知らせします。

引き続きよろしくお願いいたします。



この情報はASA平和台のご協力を頂いています。

ほっと・すぺーす

vol.234

だより



ありがとうございました！お便りは最終号になります！

今から19年前に「ほっと・氷川台デイサービス」を開設しました。会社設立から3年目。多くの方々にご利用いただきました。また、休日には、地域のボランティアの方々に3丁目カフェの活動の場や子どもたちの居場所づくりの場としてもご活用いただきました。

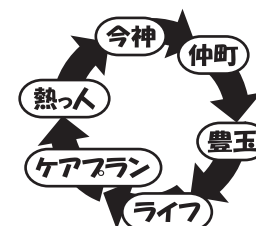
地域のみなさま、また、毎月無償で折込していただいたASA平和台さまには心よりお礼申し上げます。みなさま本当にありがとうございました。

この度、氷川台デイは、ほっと・ハウス・豊玉デイと一緒に運営していくことになり、氷川台デイは今月で活動を終えますが、今後も、ご利用者自身の「参加」と「活動」を通して、その人らしさに合わせ、「ほっと」できるひと時を提供してまいります。ご支援の程よろしくお願い致します。

ケアマネ事業所「ほっと・氷川台ケアプランサービス」、福祉用具事業所「ほっと・ライフ・サービス」は営業してまいります。引き続きのご愛顧の程お願い致します。

なお、デイサービス施設などは、現在子どもの居場所づくりを運営しているNPO法人「わかちあい練馬」が新たな事業含め展開してまいります。

株式会社ほっと・すぺーす 相談役 沖山 一雄



ほっと・すぺーす 各事業所リレートーク

優しさに気づくということ

私は10月から体調を崩し治療を始めた。「健やかなる精神は健全なる身体に宿る」ともいわれているが、病気になって元気がなくなると気持ちも沈みがちになる。しかし弱った時だからこそ優しさに敏感になれる。

病院では看護師さんが「ちょっと辛いかも知れませんがきっとよくなりますよ」と笑顔で話してくださり、「今日は体調どうですか?」「無理しないでね」「シフトは治療優先で」と今神のスタッフも入居者さん達も優しい声をかけてくれるのがありがたく、私はこんなに温かい人たちに支えられ生きているのだとしみじみ感じる。

病気は苦しいときもあるけれど、優しさの受容体と化している私にとって世界は優しさであふれている。

「ママが一番大切」そう言ってくれる家族にも感謝の気持ちでいっぱい。

これからは私からもますます優しい言葉をかけていきたいと思っている。何気ない言葉でも人は助けられるのだから。

ほっと・ハウス・今神 青木 陽子

